

ハードウェアスタートアップ
育成プログラム
TIB FAB Makers Challenge

応 募 要 項

2025年6月

(実施主旨)

ハードウェアスタートアップ育成プログラム「TIB FAB Makers Challenge」（以下、本プログラムという）の企画運営を行うTIB FABは、ハードウェア開発用機材と、技術やビジネス面でサポートするスタッフを備えた実証フィールドです。ものづくりスタートアップの成長支援およびネットワーク拡大の場となることで、革新的なアイデアやテクノロジーで社会を前進させる挑戦者を生み出すことを目指しています。

そこで本プログラムは、ものづくり起業の促進を図るため、ものづくりスタートアップに必要な知識や技術の習得、パートナー連携・マッチングによる実装に向けた支援を実施します。

(本プログラムの特徴)

◆ものづくり活動拠点の提供

3Dプリンターを始めとしたデジタルファブリケーション機器や回路設計から電子基板の実装まで可能な電子工作機器、金属加工も可能な工作機械、IoT機器開発に必要な電子計測器、温湿度試験等の環境試験が可能な試験設備等を実費で利用できます。（交通費・食事代等の個別の費用を除く）

◆専門知識習得のためのセミナー&ワークショップ

製品開発経験を持つ起業家等による実践的なプログラムを提供します。

◆開発のための伴走支援

技術相談やメンタリング、原理試作・量産試作の開発等、参加者の段階に合わせて支援します。

◆ものづくりコミュニティへの参加

ものづくりに欠かせない、起業家を中心とした横のつながりを構築します。

◆事業化マッチング・プロモーション機会の提供

事業化に必要なステークホルダーとのマッチングや、製品や成果の広報PRの機会を提供します。

◆成果発表会

投資家、金融機関、支援会社等の多数のステークホルダーの前でプレゼンする機会を提供します。

(本プログラムの企画・運営に関して)

本プログラムは、東京都と一般社団法人DMM.make TOKYOが連携して実施します。

1. 受講対象者

(1) 以下の要件を全て満たす個人又は法人が受講対象者となります。

・ものづくりビジネスを検討し、ハードウェアのプロダクトアイデア又は試作品を持っている

- ・応募時点で満15歳以上かつ中学校を卒業している
- ・応募者自ら又は既に参画中のチームメンバーがプロダクト開発を行う意思がある
- ・2026年1月までに試作開発を実現する意思がある
- ・プログラムに一貫して参加する意思がある

(2) 定員：30名程度

チーム参加は2名まで可能です。

2. プログラムの内容

テーマ	詳細	実施日
キックオフミーティング	キックオフミーティングの実施。 参加者・講師陣の顔合わせ、プログラムのオリエンテーション。	2025年8月2日(土) 13:00-15:00
「ものづくりスタートアップ導入講座」 講師：関谷 達彦 Mechanical Design Engineer	将来ハードウェアスタートアップ・メーカーとして事業を営むために必要となる、ものづくり全般のライフサイクルへの理解や習慣をレクチャーする。	2025年8月9日(土) 10:30-12:30
「プロダクトの企画・開発ワークショップ-アイデア発想からマネタイズまで-」 講師：金井 隆晴 株式会社DOT P 代表/株	【座学】 FABの機材を使って試作し量産化に成功した先輩スタートアップが、自社の製品の製作過程を例に、企画～マネタイズまでレクチャーする。	2025年8月31日(日) 10:30-16:30

式会社ORPHE CPO	【ワーク】 前半の座学を元に、チーム(個人)のアイデアをアイデアワークシートにまとめ、アイデアをブラッシュアップ ・アイデア書き出し&共有&絞込み ・「サービス/ターゲット/機能的価値」 ・「システム/コンセプト検証/マネタイズ」 ・発表会/講評	
「CAD、プロダクトデザイン/筐体設計」 講師：生駒 崇光 株式会社ICOMA 代表取締役社長	設計や意匠デザインの基礎の座学、3DCADを用いた3Dモデリングから3Dプリンターを用いた筐体プロトタイプの実践的な手法を学ぶ。	2025年9月13日(土) 13:00-16:30
「ものづくりに必要なハードウェア/プログラミング基礎講座」 講師： 《ハードウェア担当》 阿部 潔 TIB FAB技術顧問テクニカルアドバイザー 《プログラミング担当》 矢追 良太 一般社団法人 42Tokyo CTO	◎ハードウェア講座 【ワーク】 ブレッドボードを用いた回路実験を通して座学で学んだ知識を実際の回路に適用し、上手な部品配置を学ぶ。 ◎プログラミング講座 【ワーク】 プログラミング言語Pythonを用いたワークショップ ・Pythonの基本文法 ・Pythonの制御構文 ・リアルなハードウェアをPythonで動かしてみよう！	2025年9月20日(土) 10:15-16:30
「プロトタイピング体験」 講師：TIB FABテクニカルアドバイザー	FABの機器を活用してレーザー距離計を製作し、ラビットプロトタイピングの基礎を学ぶ。 センシング、マイコン制御、半田付け、筐体の試作、組み立て、デザイン印刷までを1日で体験し、FABを使った実践的なプロトタイピング手法を身につける。	2025年9月27、28日 (土、日) 各10：30-16：30 どちらか1日程の参加となります。(参加者グループを2つに分けて2回開催します。)

「進捗共有会」 ゲスト：調整中	1月末の成果発表会に向けて、製品・ビジネス・プレゼン内容に関するフィードバックを受けることで、プロジェクトをさらにブラッシュアップする。	2025年10月18日(土) or19日(日)
「製品化するための製造プロセス学習」 講師：（株）浜野製作所	原理試作後、市場に製品を出すための量産前試作のプロセスや工場との協業について実例を通して学び、工場見学を通じて量産のものづくりの現場に実際に触れることで、ハードウェア開発への理解を深める。	2025年10月末～11月上旬頃
先輩スタートアップとの交流会 ゲスト：調整中	実体験を元に、どのように事業をステップアップし、人材を集め、マネタイズしていったかなどテーマやハードシングスについて知る。 交流とスタートアップへのアドバイス会。	2025年11月中旬頃
成果発表会	投資家、金融機関、支援会社等の多数のステークホルダーの前で、最終成果のプレゼンを行います。	2026年1月末頃
メンタリング メンター：プログラム講師陣	受講者のプロダクトアイデアに対して、個別にアドバイスします。ご相談内容に合わせて事務局がメンターを選定します。	プログラム受講期間中、随時ご相談ください。

※会場はTIB FABおよびTIB内スペースを予定しています。

※プログラムの内容および日時等は予告なく変更する場合があります。

3. プログラムの受講費用

無料（飲食費、交通費、一部材料費は各自負担）

4. プログラムの対象期間

2025年8月～2026年1月末まで（予定）

5. 応募手続き

(1) 応募フォーム

応募期限内に募集Webサイト (<https://tib.metro.tokyo.lg.jp/tibfab/program/2025>) のエントリーフォームから申し込んでください。

(2) 応募期限および応募方法

応募期限	2025年7月1日(火) 午前9時59分まで
応募方法	●下記エントリーフォームに記入して送信してください。 https://forms.gle/qLqRUnFY1UsCQDEB8
問い合わせ	TIB FAB Makers Challenge運営事務局 (一般社団法人DMM.make TOKYO) tibfab-program@dmm.com

6. 選考の方法

(1) 応募内容に対して、以下の項目に基づいて選考を行い、その結果をもとにプログラム受講者を決定します。なお、選考の内容についてのお問い合わせには応じられません。また、選考委員の氏名等は公表しません。応募書類、面接での発表内容は初見の相手を想定した過不足のない表現を心がけてください。

(2) 選考結果はメールで通知します。

(3) 1次選考では、応募フォームへの記入のみで完結する書類選考を行います。

必要に応じて補足資料を提出することも可能です。

選考は全回答を総合的に評価し、全応募者の回答を相対比較して選考通過者を決定します。

またプロダクト関連の設問は、本プログラムを受講する必要性を測る内容として詳細

の回答が必須の項目となります。

<回答項目>

応募フォームには下記の回答項目が用意されています。

回答欄を空欄にした状態で応募することはできません。

回答項目	
同意	応募要項、参加規約、個人情報の取り扱いに関して
個人情報	氏名
	連絡先
	年代・属性・職種など
	起業状況
	(法人の場合) 会社情報
	(個人の場合) 活動状況
	参加人数
プロダクト情報	事業 / プロダクト / アイデア名 (記述)
	プロダクトの詳細 (記述)
	検討しているビジネスモデルや販売先のイメージ、ターゲット (記述)
	『TIB FAB Makers Challenge』のプログラムを通じて達成したい目標や実現したい社会に関して (記述)
	プロダクトの開発状況 (選択)
	開発を予定しているプロダクトの対象業界 (選択)
	現状でわかっている有利な点や不利な点、課題等について (記述)
	活動の実績や意気込み、追加資料 (任意)

(4) 2次選考では、オンラインでの面接による選考を行います。

面接は1次選考通過者による3分間のプレゼンテーションと質疑応答で実施します。

＜選考方法＞

発表時間：3分

会場：オンライン（Zoom等のオンラインミーティングツールを想定）

発表方法：画面共有によるプレゼンテーションと終了後の質疑応答

PowerPoint等のプレゼンテーションツールを使用して発表を行います、
内容やページ構成等の指定はありません。

評価項目：下記の評価項目で選考を行います。

評価項目	評価の視点
プロダクトアイデアの新規性	●現在開発している、あるいは開発しようとしている製品・サービスについて独自性や優位性、新規性が存在するか。
プロダクトアイデアの市場性	●現在開発している、あるいは開発しようとしている製品・サービスについて、ニーズを含め市場性がどの程度見込めるか。
プロダクトアイデアの妥当性	●ソリューションとしての適切さやチームとプロダクトアイデアの相性や外部環境を含めた実現性の高さ。
課題の明確性	●チームとして現在抱えている、あるいは今後発生しうる事業課題を明確化しているか。

本プログラム受講の 動機・必要性・熱意	●本プログラムを受講することでどのようなことを学びたいか、プロダクト開発に生かしたいか。また、熱意をもって主体的に取り組めるか。
------------------------	--

7. 受講者の発表

採択者に対して個別にメールでご案内します。

8. 事後アンケートの協力

本プログラム期間中、または修了後、速やかにプログラムの受講により得られた事項や今後の改善・要望事項に関わるアンケートへの回答に協力するものとします。

9. 募集スケジュール概要

- (1) 募 集 : 2025年年6月2日(月)～7月1日(火) 午前9時59分
- (2) 事 前 相 談 : プログラムの説明会もしくは個別相談会にご参加ください。
- (3) 選 考 日 程 : 下記期間中に行います。

＜1次選考（書類審査）＞

選考期間：2025年7月1日（火）～2025年7月3日（木）

結果発表：2025年7月4日（金）頃

＜2次選考（プレゼン審査）＞

選考期間：2025年7月14日（月）～2025年7月18日（金）

※この期間のうち2日間で実施予定（調整中）

結果発表：2025年7月中を予定しております。

※選考に関するご案内は全てメールにてご連絡いたします。

(4) プログラム開始：2025年8月2日（土）キックオフミーティング実施予定

10. 問い合わせ

【応募、選考方法等プログラム全般について】

TIB FAB Makers Challenge運営事務局（一般社団法人DMM.make TOKYO）

MAIL：tibfab-program@dmm.com